

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政策目標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに
重点的取組 3 高齢者や障がいのある人など誰もが自分らしく地域で暮らせるよう支援する

担当課名		福祉保健部 高齢介護課	
予算科目	予 算	01	一般会計
	款	03	民生費
	項	01	社会福祉費
	目	02	老人福祉費

事業名	吉和地域高齢者施設整備事業	事業開始年度	平成 27 年度
		根拠法令 条例 個別計画 等	

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	吉和地域の高齢者（ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等）	吉和地域のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等の方が在宅で生活することが困難な状態となっても、吉和地域で夜間でも安心して暮らせる環境を確保する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
地域住民	人的財政的援助	生涯暮らし続けられる吉和地域をつくる会	地域住民との意見集約、関係づくり

3 平成 27 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

事業内容

高齢化が進行し、県平均を上回る高齢化率となっている吉和地域において、住民を対象とした「福祉座談会」を平成25年度に3回開催し、介護が必要になっても吉和地域で暮らし続けられる環境をつくるにはどうしたら良いか、多くの意見が出された。

その後、平成26年度に「生涯暮らし続けられる吉和地域をつくる会」を発足し、福祉座談会で出された意見を基に再三協議を重ね、吉和地域のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等の方が在宅で生活することが困難な状態となっても、吉和地域で夜間でも安心して暮らせる施設（泊まりのできる施設）を整備することの要望書が提出され、平成27年度に整備設計、平成28年度に建設整備、平成29年度から開設する計画で進めていくものである。

(参考：高齢化率)

市全域	26.40%
吉和地域	48.00%

H26.10.1 時点

建設整備の概要

泊まりのできる施設《1人部屋12.0㎡*2室（手洗所つき）、3人部屋36㎡*1室（間仕切りあり）、事務室（仮眠室）、共同トイレ》設備はベット6床分、事務机・椅子、暖房器具など（食堂や浴室等は福祉センターを共用）

【歳入】

過疎対策事業債

5,200千円

【歳出】

委託料 実施設計業務委託料

5,236千円

コスト情報（円）

項目		平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算	
財源内訳	直接事業費 A			5,236,000	
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）			5,200,000	
	その他（使用料など）				
	市（市税など）			36,000	
人件費（按分） B		人	人	0.05 人 432,450	
総事業費（A+B）				5,668,450	
単位換算	① 人口（4月1日現在）	117,680 人	117,680 人	117,182 人	
	市民1人当たり			48	
	② 吉和地域65歳以上人口	355 人	345 人	339 人	

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H27目標値	備考
活動成果	生涯暮らし続けられる吉和地域をつくる会員数	人			30	